

3月11日は「東日本大震災津波を語り継ぐ日」です

岩手県では、3月11日を「東日本大震災津波を語り継ぐ日」とする条例が制定されています。これは、震災により亡くなつた多くの尊い命に追悼の意を表し、震災の教訓を伝承するとともに、これまでの復興に向けた歩みの中で得られた多くの絆を大切にし、一人一人の大切な人に想いを寄せ、ふるさと岩手を築いていくことを誓うものです。

釜石市防災市民憲章 命を守る

釜石市は、2011年3月11日に発生した東日本大震災の大津波により、千人を超える尊い命を喪った。その悲しみが、癒えることは決してない。しかし、古来より、先人たちが、度重なる災害や戦災をたくましく乗り越えてきたように、今、私たちは、ふるさと復興への途を歩み続けている。自然は恵みをもたらし、ときには奪う。海、山川と共に生き、その豊かさを享受してきたこの地で安全に暮らし続けていくためには、また起こるであろうあらゆる災害に対し、多くの教訓を生かしていかなければならない。未来の命を守るために、私たちは、後世に継承する市民総意の誓いをここに掲げる。

備える

災害は ときと場所を選ばない
避難訓練が 命を守る

逃げる

何度も ひとりでも
安全な場所に いちはやく
その勇気は ほかの命も救う

戻らない

一度逃げたら 戻らない 戻らせない
その決断が 命をつなぐ

語り継ぐ

子どもたちに 自然と共に在るすべての人に
災害から学んだ生き抜く知恵を 語り継ぐ

私たちは生きる。
かけがえのないふるさと釜石に、共に生きる。



一人の芝居



内沢雅彦さん

釜石出身作家の沢村鐵さんの東日本大震災の鎮魂をテーマにした作品『もう一人の私へ』を「劇団黒テント」に所属する釜石出身俳優の内沢雅彦さんが演じます。

日時・場所・料金

- 昼の部 3月11日(土) 13時30分 開場13時 イオンタウンホール
3月12日(日) 11時 開場10時30分 鵜の郷交流館
- 夜の部 3月10日(金)・3月11日(土) 19時 開場18時30分
タウンホール(大町3-9-1 2階)
- 料 金 1,000円 (夜の部はドリンク別)
- 申込方法 メールに希望日時、場所、名前、メールアドレスを明記の上、kazushige@sado-ec.comに連絡ください

問い合わせ uchyaji55@ymobile.ne.jp

3月11日 14時46分 黙とうをささげましょう。
市は、地震発生時刻の3月11日14時46分に防災行政無線でサイレンを鳴らします。
震災で犠牲となられた方々のご冥福を祈り、
黙とうをささげましょう。

企画展

先人に学ぶ復興～昭和三陸地震津波から90年～

昭和8年3月3日に三陸を襲った昭和三陸地震津波から90年。東日本大震災の復興事業を終えようとする今、改めて昭和三陸地震津波とその後の復興を学んでみませんか。

- 期 間 3月3日(金)～5月7日(日)
9時30分～16時30分 (最終入館16時) ※毎週火曜日は休館
- 会 場 釜石市郷土資料館 企画展示室
- 内 容
- | | |
|-----------------|-------------|
| ・岩手県全域、釜石の被災状況 | ・市内各地の被災写真 |
| ・被災後の復興に向けた取り組み | |
| ・学校ごとにまとめた体験談 | ・復興に関する資料 他 |

問い合わせ 釜石市郷土資料館 [0177-22-2046](tel:0177-22-2046)